

組立説明書 / 取扱説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。

ご使用のまえには取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- 取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています



警告

「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。



注意

「傷害を負うまたは物的損害発生の恐れがある」内容です。

- お守りいただく内容を示しています



禁止

「行ってはいけない」内容です。



必ず守る

「行わなければならない」内容です。



注意

- 組立および設置時の注意

必ず守る	組立、設置、移動は2人以上で行ってください。移動する時は引きずらず持ち上げて運んでください。 →ケガをしたり、破損したり、建物の内装を傷つける恐れがあります。
禁止	組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。 →ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。
必ず守る	水平で平滑な床面に設置してください。 →不安定な場所に設置すると、がたついたり転倒や引出しの開閉に支障が出る恐れがあります。
禁止	説明書に記載されている組立パターン以外の組立や改造等はしないでください。 →破損してけがをする恐れがあります。
必ず守る	転倒防止金具が付属されている書棚等を単独で使用する場合、必ず転倒防止金具を使って書棚を壁または柱などへ固定してください。 →転倒して破損したり、けがをする恐れがあります。
禁止	直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。 →変形、変質、退色の原因となります。
必ず守る	組立のパターンによって使用しない部品や部材が残る場合があります。 →紛失しないよう大切に保管してください。

- 天然木の製品は木目柄、色に多少のばらつきがあります。






このため展示品とお届け品では木目柄、色が異なる場合があります。

- イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。




安全上のご注意

ご使用前によくお読みください。

警告

 厳守	<p>器具の組み立ては、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の組み立てに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。</p>	 禁止	<p>サウナ・風呂等の高温の場所では使用できません。 →火災・燃焼・やけどの原因になります。</p>
	<p>コード類が損傷した場合（芯線の露出・断線など）、速やかに電源を切り、販売店またはお客様相談室にご相談ください。 →そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。</p>		<p>器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。</p>
	<p>長期使用しない場合は、差込プラグを抜いてください。 →長期間の外出やご旅行のときは安全のため、コンセントから抜いてください。</p>		<p>器具を布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。</p>
	<p>異常を感じた場合は、速やかに電源を切り、差込プラグを抜いてください。 →放置しますと火災・感電の原因になります。 販売店またはお客様相談室にご相談ください。</p>		<p>器具の上に乗ったり、器具の下に入り込んだり、器具を蹴ったりしないでください。 →火災・感電・けがの原因になります。</p>
	<p>接続されているコード類が高さの変化に対応出来る適切な長さである事を確認してから上下させてください。 →コード類が損傷し、火災、感電の原因になります。</p>		<p>天板だけを持って、持ち上げないでください。 →破損し、けが・故障の原因になります。</p>
 分解禁止	<p>器具を改造したり、部品を追加・変更、塗装して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。</p>		<p>異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃ガス、粉じんの影響を受ける場所では使用できません。 →火災・感電・落下・錆びの原因になります。</p>
 水ぬれ禁止	<p>この器具は非防水です。湿気が多い場所や水のかかる場所では使用できません。 →火災・感電・絶縁不良の原因になります。</p>		<p>コード類に重いものを載せたり、挟み込んだり、踏んだりしないでください。 →コード類が損傷し、火災、感電の原因になります。</p>
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で差込プラグを触らないでください。 →感電の原因になります。</p>		<p>コード類を無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 →コード類が損傷し、火災、感電の原因になります。</p>
			<p>2分以上連続で作動させないでください。 →故障の原因になります。</p>
			<p>不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使用しないでください。 →火災・転倒・落下によるけがの原因になります。</p>

注意

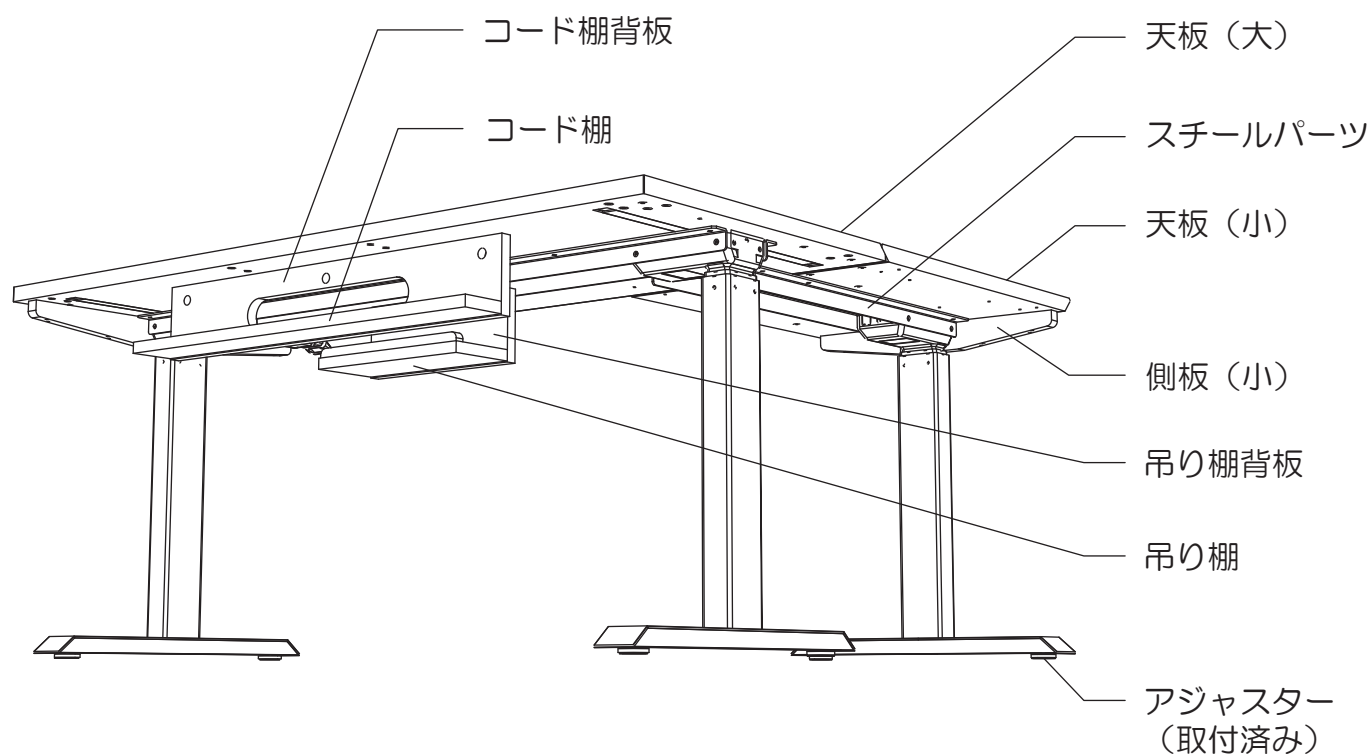
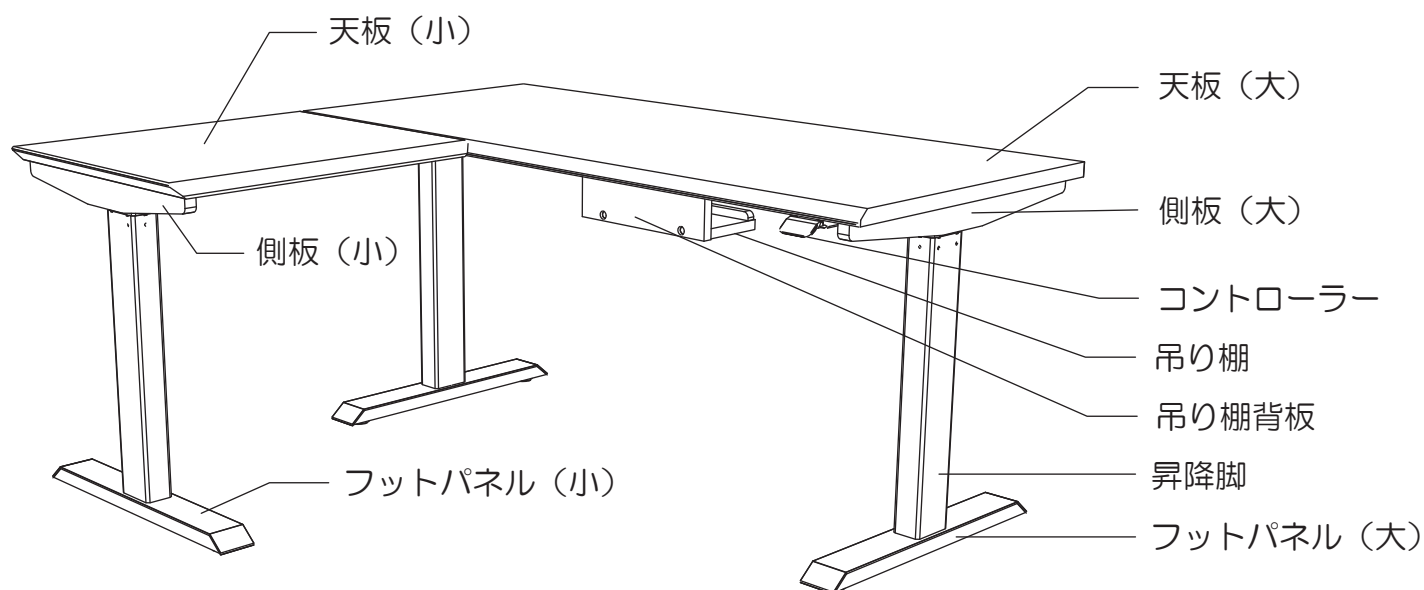
 厳守	<p>差込プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。 →火災・感電の原因になります。</p>	 禁止	<p>表示された電源電圧 (AC100V) 以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。</p>
	<p>作動させる前に周囲にモノがない事を確認してから使用してください。 →破損・けがの原因になります。</p>		<p>器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。 →火災の原因になります。</p>
	<p>ボルト類が緩んでいないか定期的に点検し、緩んでいる場合は締め直してください。 →破損・けがの原因になります。</p>		<p>周囲温度 5～35℃、湿度 45～85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。</p>
	<p>木部に水滴が付いた場合は、速やかに乾いた布で拭き取ってください。 →シミになる恐れがあります。</p>		<p>天板に座る・乗る・足をかける等の行為をしないでください。 →破損・けがの原因になります。</p>
	<p>コップ等の水滴がついた容器はコースター等を使用してください。 →シミになる恐れがあります。</p>		<p>天板が壁などに触れていないことを確認してください。 →破損・けがの原因になります。</p>
 接触禁止	<p>回転部や可動部の指はさみ等にご注意ください。 →けがの原因になります。</p>		<p>2台のユニットをくっつけて使用しないでください。 →接触し、故障の原因になります。</p>

目次

■表紙	P1
■安全上のご注意	P2
■目次	P3
■各部の名称	P4
■付属品	P5
■組立方法	P6~P13
■コントローラーでできること	P14~P16
■安全機能、分解方法	P16
■エラーコードについて	P17~P19
■保証書	P20

各部の名称


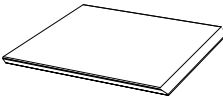
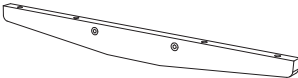

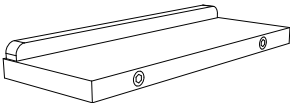
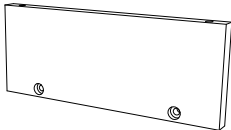

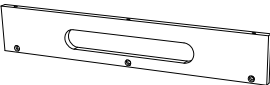
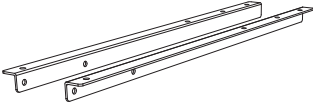
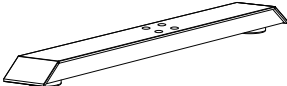
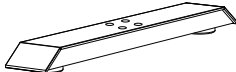
商品と付属品がすべてそろっているかご確認ください









付属品

商品と付属品がすべてそろっているかご確認ください

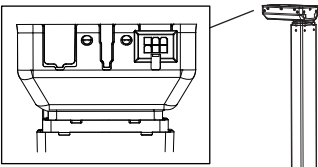
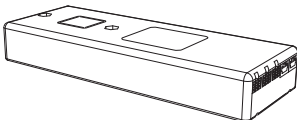
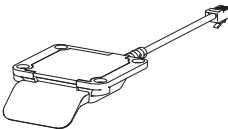
天板 - パーツ

天板 (大)	天板 (小)	側板 (大)	側板 (小)
			
×1	×1	×1	×1
吊り棚	吊り棚背板	コード棚	コード棚背板
			
×1	×1	×1	×1
スチールパーツ	フットパネル (大)	フットパネル (小)	
	 ※アジャスター 取付済み	 ※アジャスター 取付済み	
× 左右各 1	×2	×1	


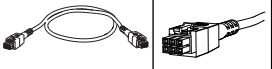

天板 - 部品

ボルト (M6×30mm)	ボルト (M6×16mm)	連結ピン	回転金具	トラスボルト (M4×15mm)	六角レンチ
KSK6BU630	KSK6BJ616	SZC8MB605	SZC8MKN18	DRK4BJ415	DRK5AK80K
					
×13	×8	×5	×5	×4	×1

昇降ユニット - パーツ

昇降脚	コントロールボックス	コントローラー
	LNK5UGCB6 	LNK4UHDPI 
×3	×1	×1

昇降ユニット - 部品

ボルト (M6×12mm)	ケーブル	コンセントケーブル
LNK4BJ612	LNK4UI11K	LNK5UI32K
		
×24	×3	×1

① 小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
➡ お子様が飲み込むことがあります。

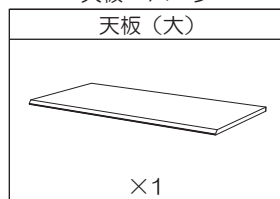
※枠内の9桁表記は、部品品番となります。

組立方法

1 昇降脚の取付け

天板 - パーツ

天板 (大)



天板 - 部品

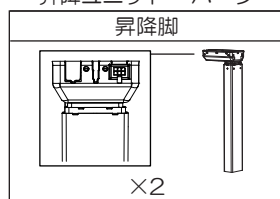
六角レンチ

DRK5AK80K



昇降ユニット - パーツ

昇降脚



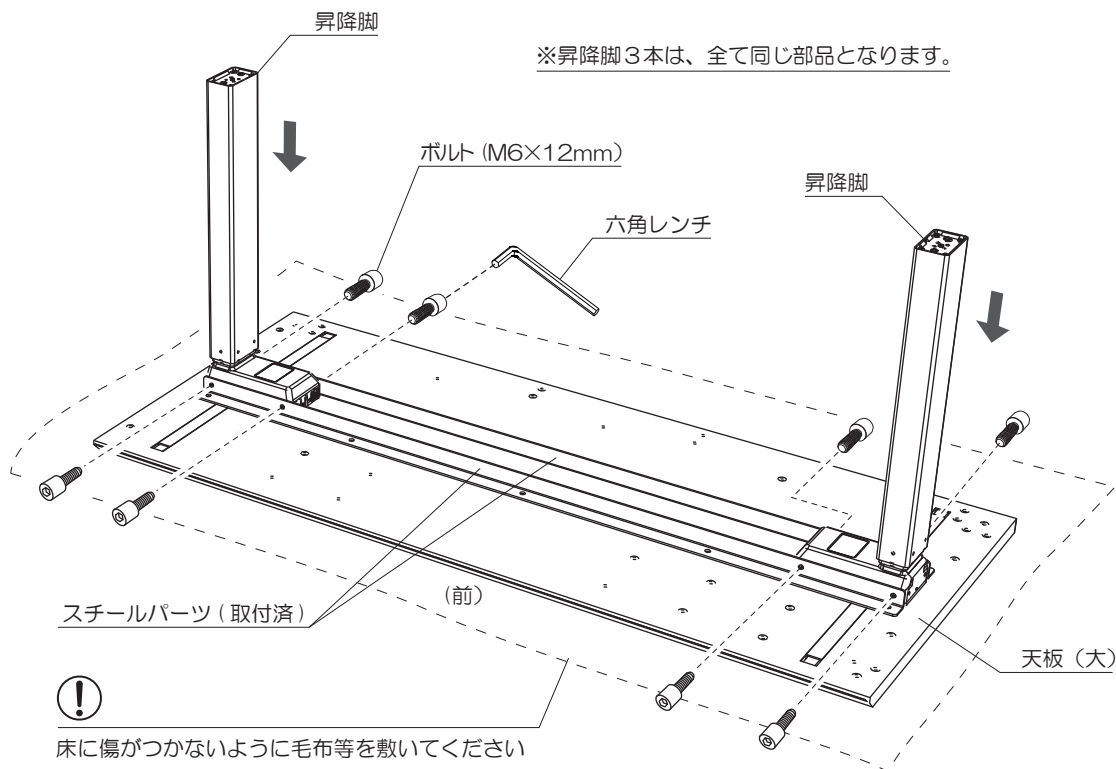
昇降ユニット - 部品

ボルト (M6×12mm)

LNK4BJ612



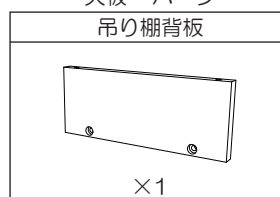
昇降脚のボルト穴とスチールパーツのボルト穴との位置を合わせ、六角レンチを使い、ボルトを仮締めしてください。
すべてのボルトを仮締めできましたら、六角レンチでしっかりと締め込んでください。



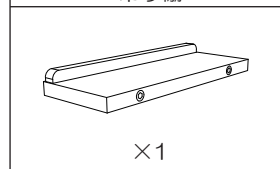
2 吊り棚の組付け

天板 - パーツ

吊り棚背板



吊り棚



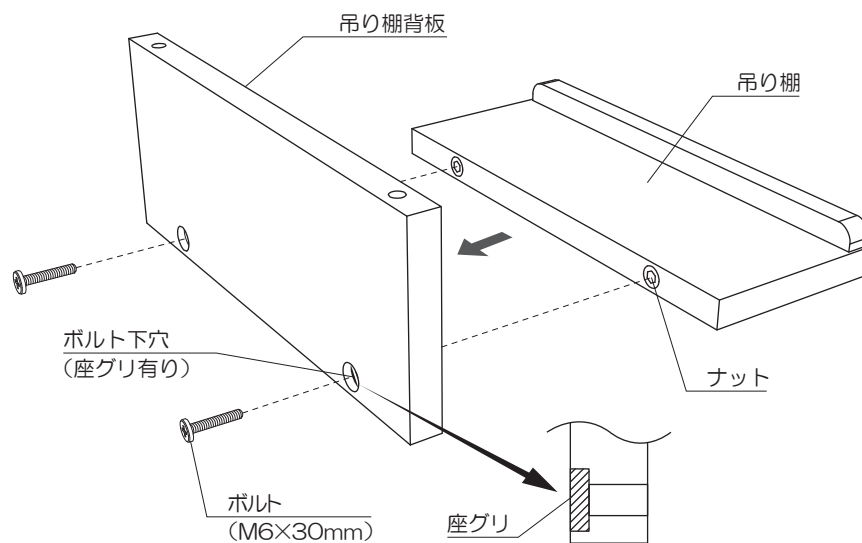
天板 - 部品

ボルト (M6×30mm)

KSK6BU630

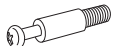



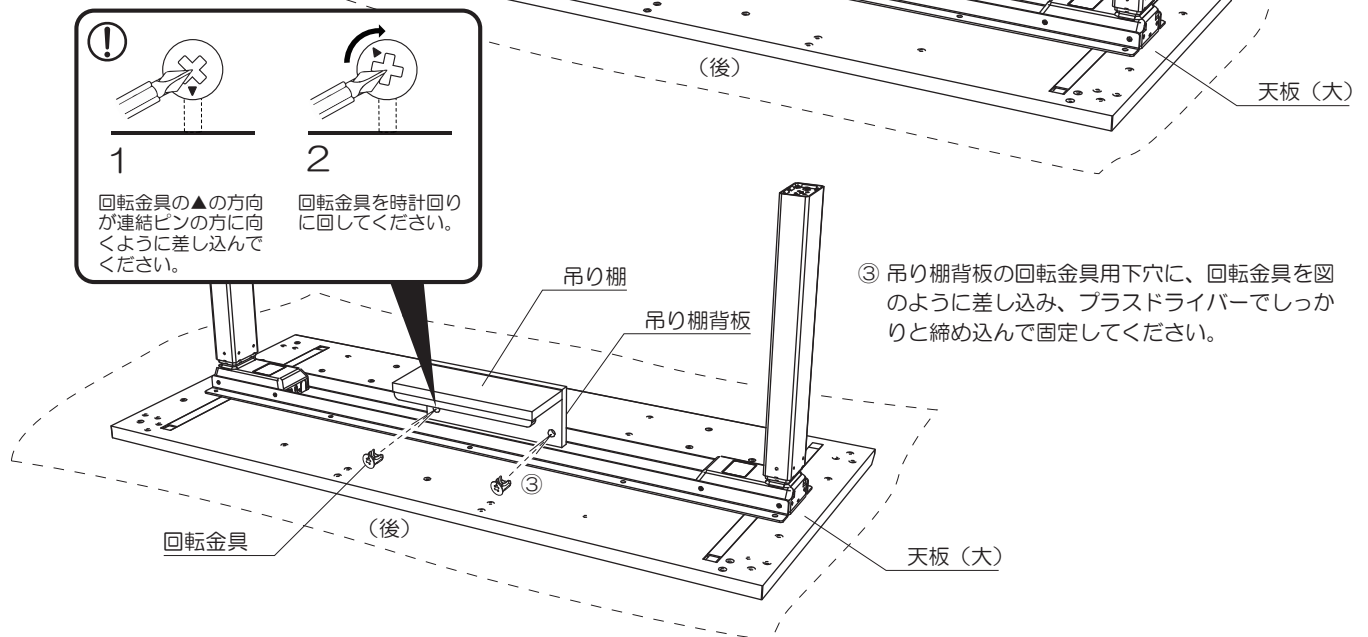
吊り棚背板のボルト下穴と吊り棚のナット位置を合わせ、座グリ側の方からボルトで固定してください。



3 吊り棚の取付け




- ① 天板中央部のナットに、連結ピンをねじ込んでください。
- ② 吊り棚背板の連結ピン用下穴を、連結ピンに差し込んでください。

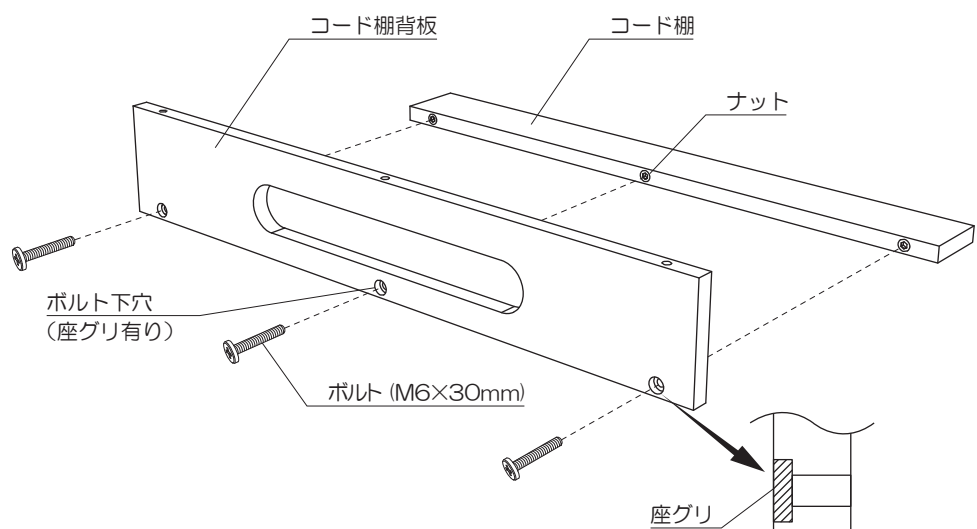
天板 - 部品
連結ピン
SZC8MB605

×2
回転金具
SZC8MKN18

×2



4 コード棚の組付け

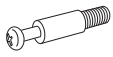

コード棚背板のボルト下穴とコード棚のナット位置を合わせ、座グリ側の方からボルトで固定してください。

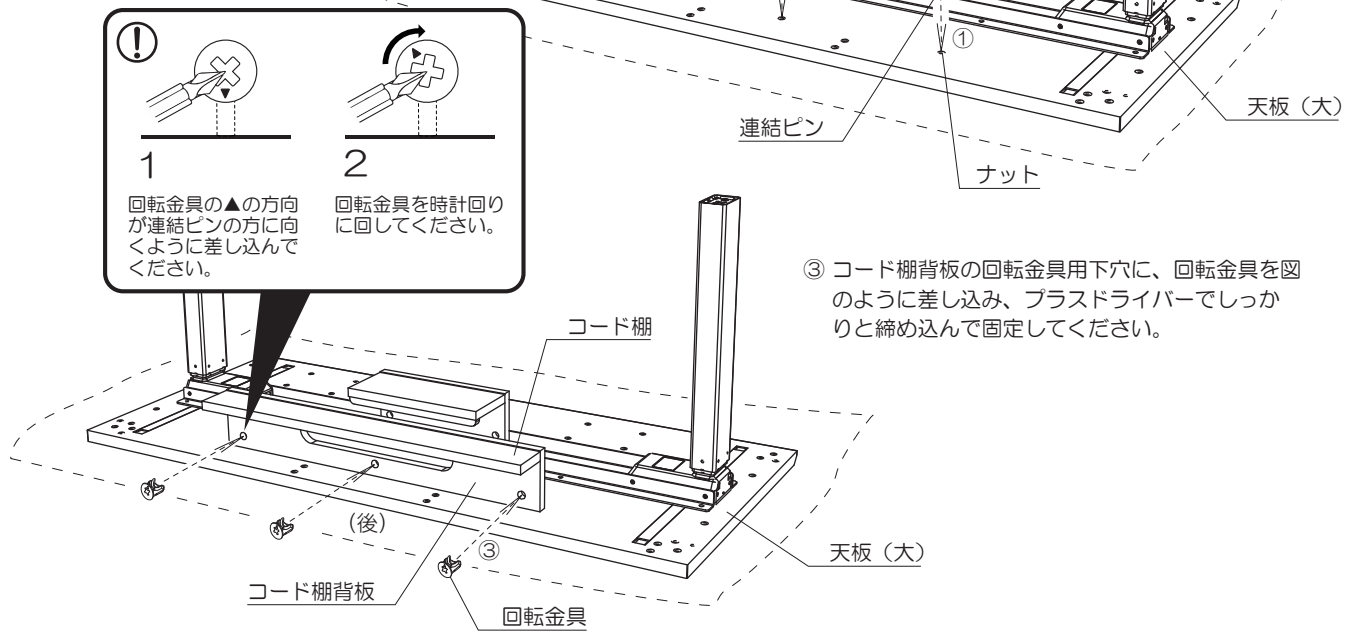
天板 - パーツ
コード棚背板

×1
コード棚

×1
天板 - 部品
ボルト (M6×30mm)
KSK6BU630

×3



5 コード棚の取付け

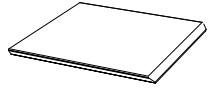
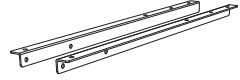

- ① 天板中央後方部のナットに、連結ピンをねじ込んでください。
- ② コード棚背板の連結ピン用下穴を、連結ピンに差し込んでください。

天板 - 部品
連結ピン SZC8MB605

×3
回転金具 SZC8MKN18

×3

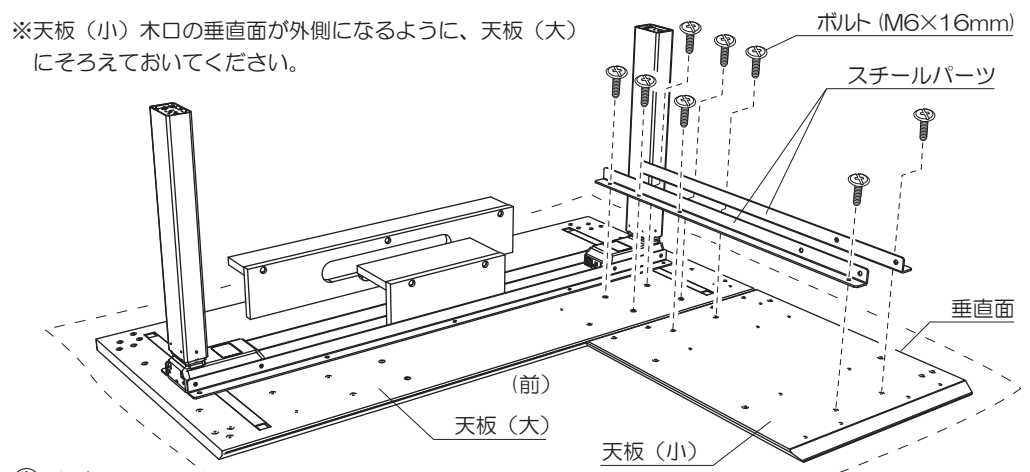


6 天板（小）の取付け

天板（大）の前側に天板（小）を置き、天板（大）と天板（小）のナット位置に、スチールパーツのボルト穴の位置を合わせ、ボルトで仮止めしてください。

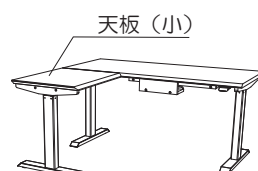
天板 - パーツ
天板（小）

×1
スチールパーツ

× 左右各 1
天板 - 部品
ボルト (M6×16mm) KSK6BJ616

×8

※天板（小）木口の垂直面が外側になるように、天板（大）にそらえておいてください。

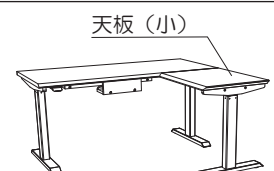


① 注意

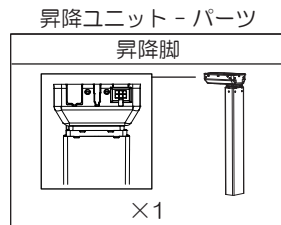
天板（小）の位置を左右どちらにでも組み立てる事ができ、どちら側に天板（小）を取り付けたいかを確認してから組み立ててください。



右に天板（小）で組み立てる場合は図を反転して組み立ててください。

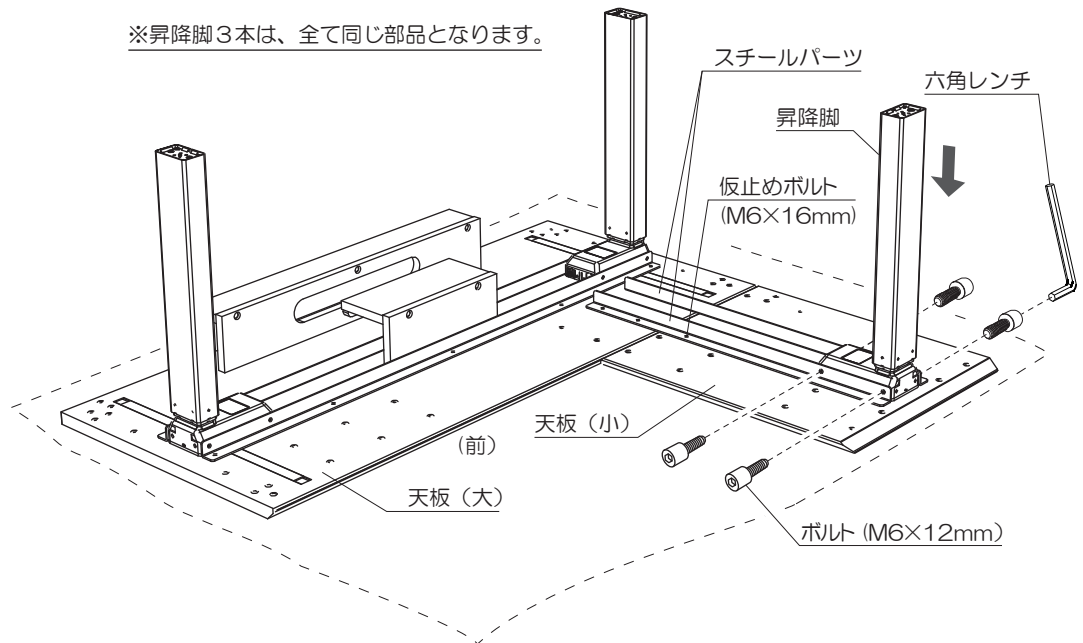


7 昇降脚の取付け

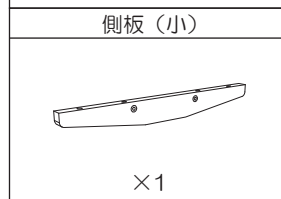
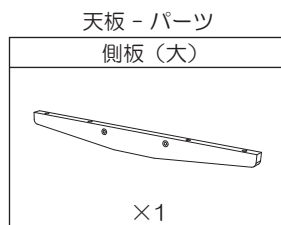


昇降脚のボルト穴とスチールパーツのボルト穴との位置を合わせ、六角レンチを使い、ボルトを仮締めしてください。
すべてのボルトを仮締めできましたら、六角レンチでしっかりと締め込んでください。
その後に、8ページの6でスチールパーツを組み付けた際の仮止めボルトもしっかりと締め込んでください。

※昇降脚3本は、全て同じ部品となります。

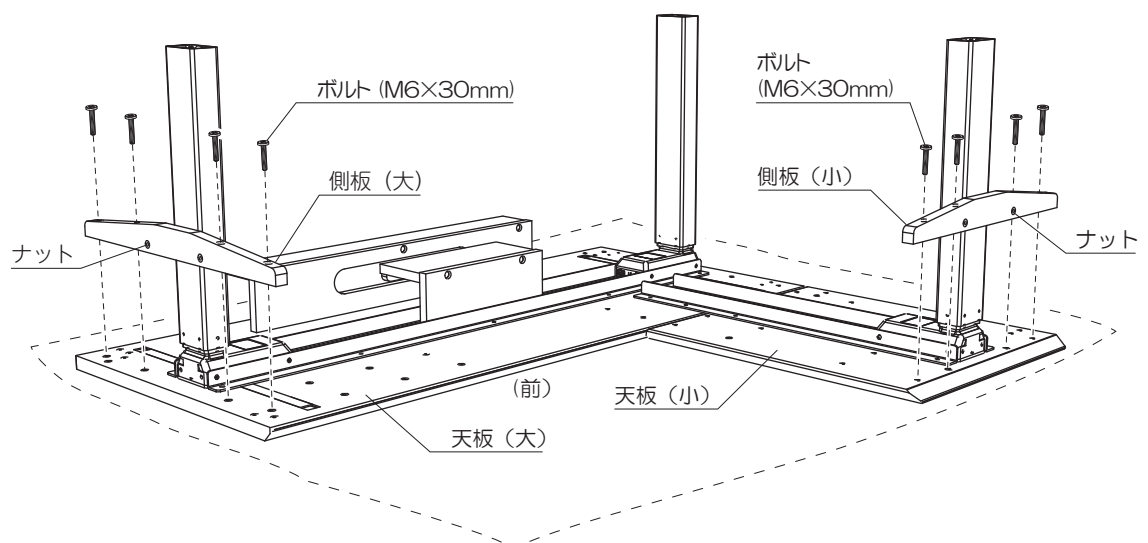


8 側板の取付け

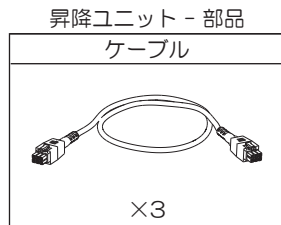
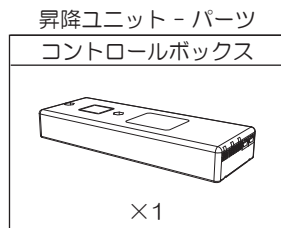


天板 (大) の外側にあるナットと側板 (大) のボルト下穴位置を合わせ、ボルトで固定してください。
天板 (小) の前側にあるナットと側板 (小) のボルト下穴位置を合わせ、ボルトで固定してください。

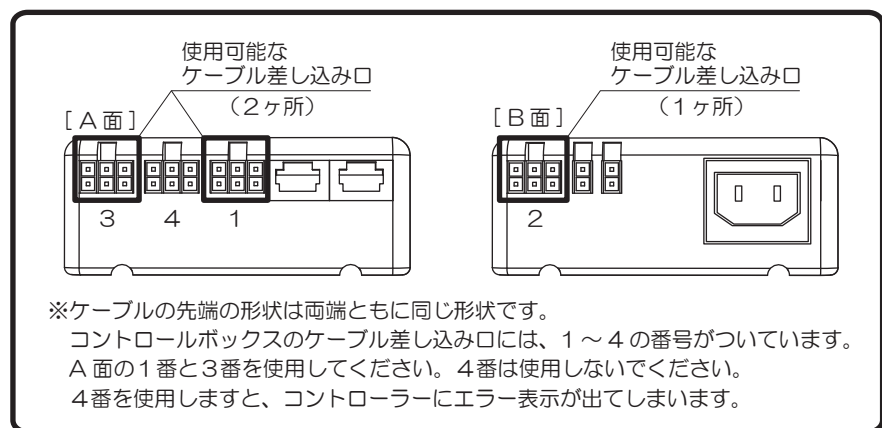
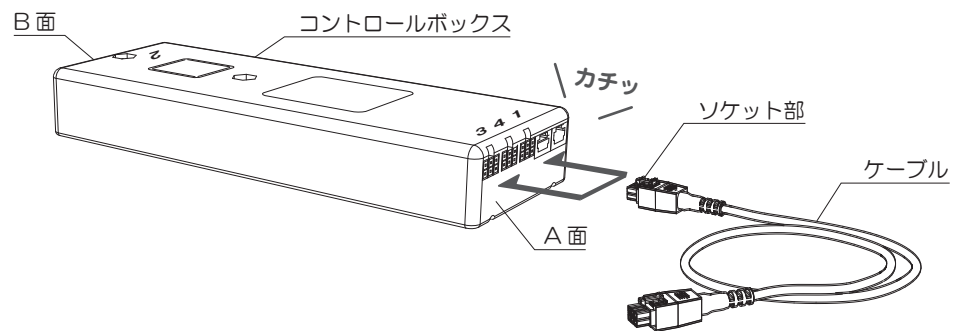
※側板は、ナットのある方が外側になるように取り付けてください。



9 コントロールボックスとケーブルの結線

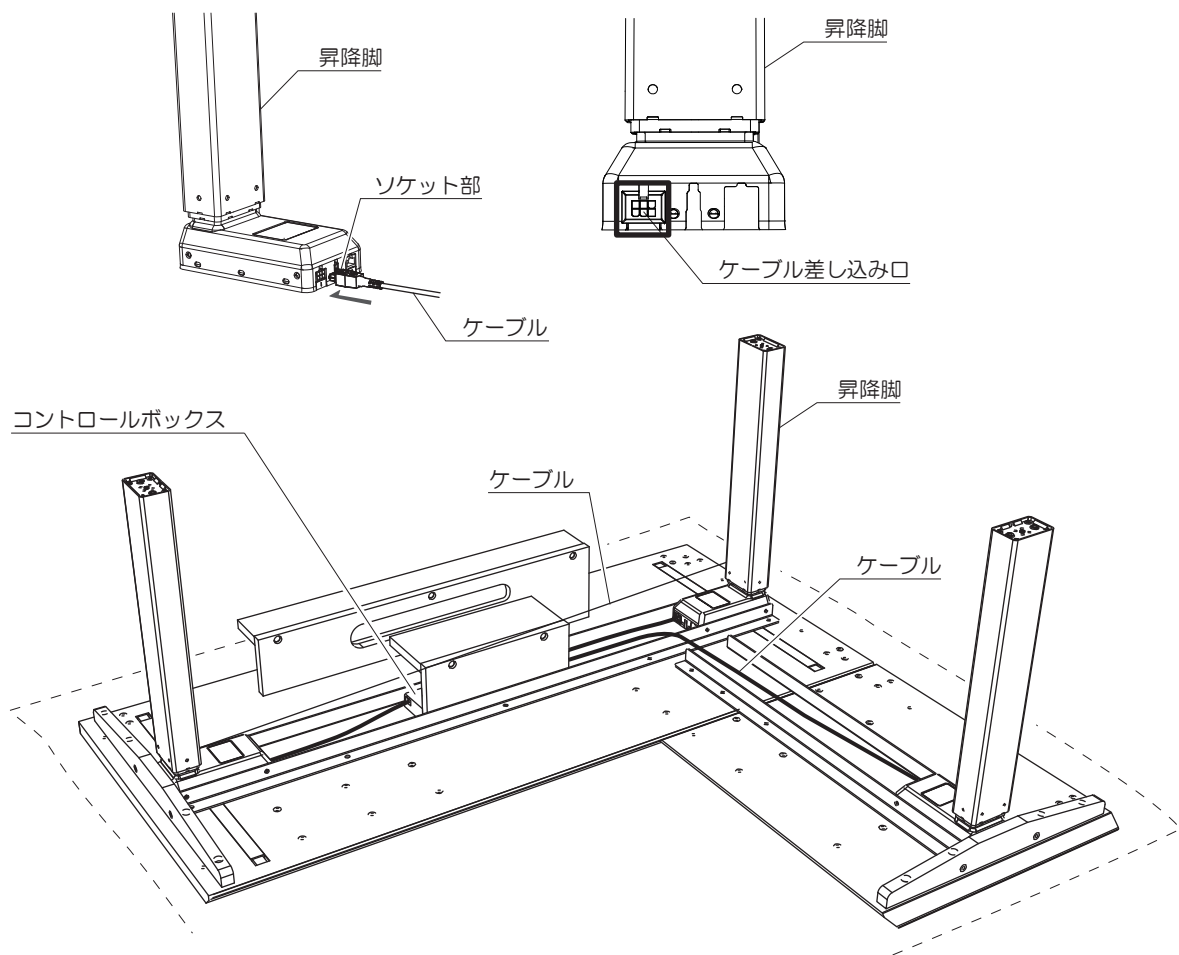


コントロールボックスのケーブル差し込み口 4 ヶ所に、ケーブル3本のソケット部を A 面に2本、B 面に1本カチッと音が出るまで差し込んでください。

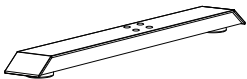
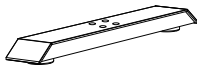


10 昇降脚とケーブルの結線

9で結線したケーブルのソケット部と逆側のソケット部を、昇降脚のケーブル差し込み口にカチッと音が出るまで差し込んでください。



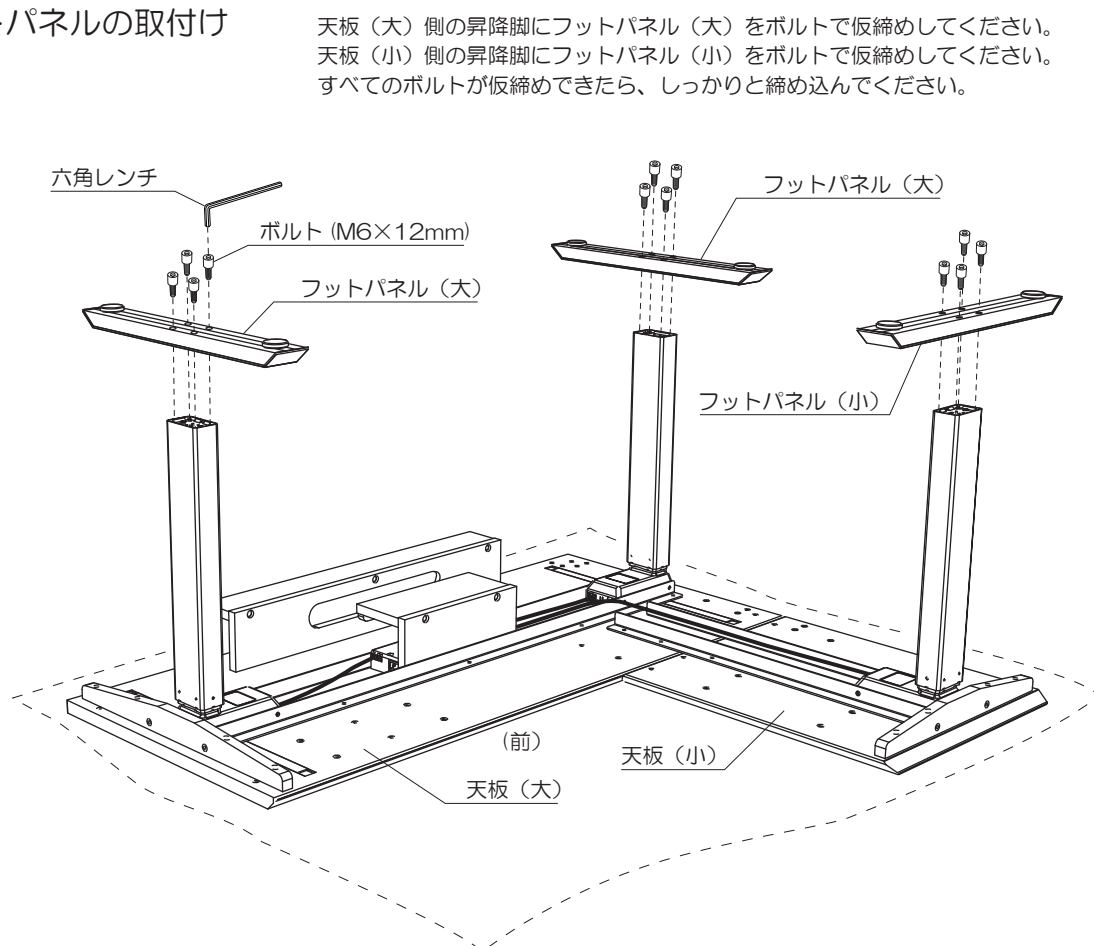
11 昇降脚にフットパネルの取付け

天板 - パーツ
フットパネル (大)

×2
フットパネル (小)

×1

昇降ユニット - 部品
ボルト (M6×12mm)
LNK4BJ612


×12
六角レンチ
DRK5AK80K

×1



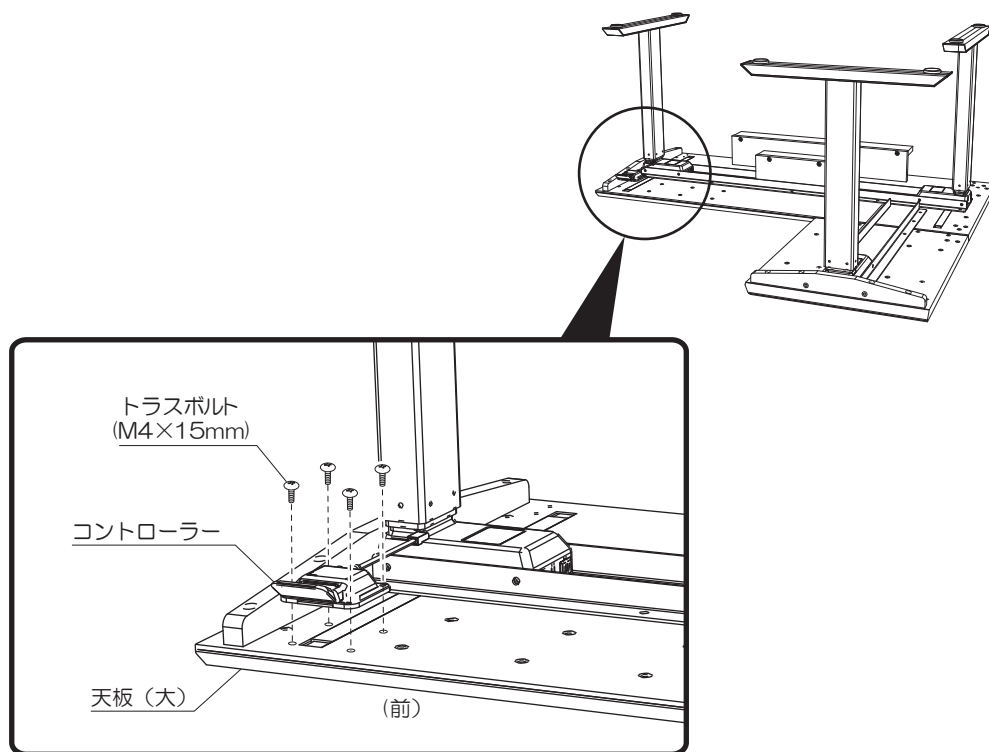
天板 (大) 側の昇降脚にフットパネル (大) をボルトで仮締めしてください。
天板 (小) 側の昇降脚にフットパネル (小) をボルトで仮締めしてください。
すべてのボルトが仮締めできたら、しっかりと締め込んでください。

12 コントローラーの取付け

昇降ユニット - パーツ
コントローラー
LNK4UHDPI

×1

天板 - 部品
トラスボルト (M4×15mm)
DRK4BJ415

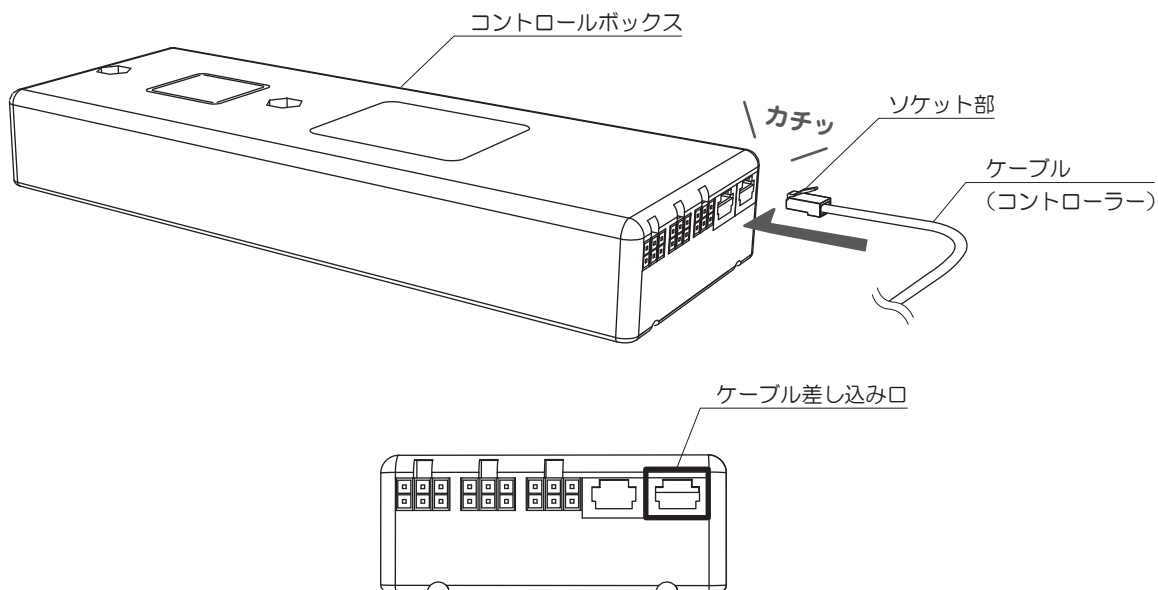
×4



- ① 天板 (小) を左側に組み立てた場合、コントローラーは天板 (大) の右手前に取り付けます。
天板 (小) を右側に組み立てた場合、コントローラーは天板 (大) の左手前に取り付けます。

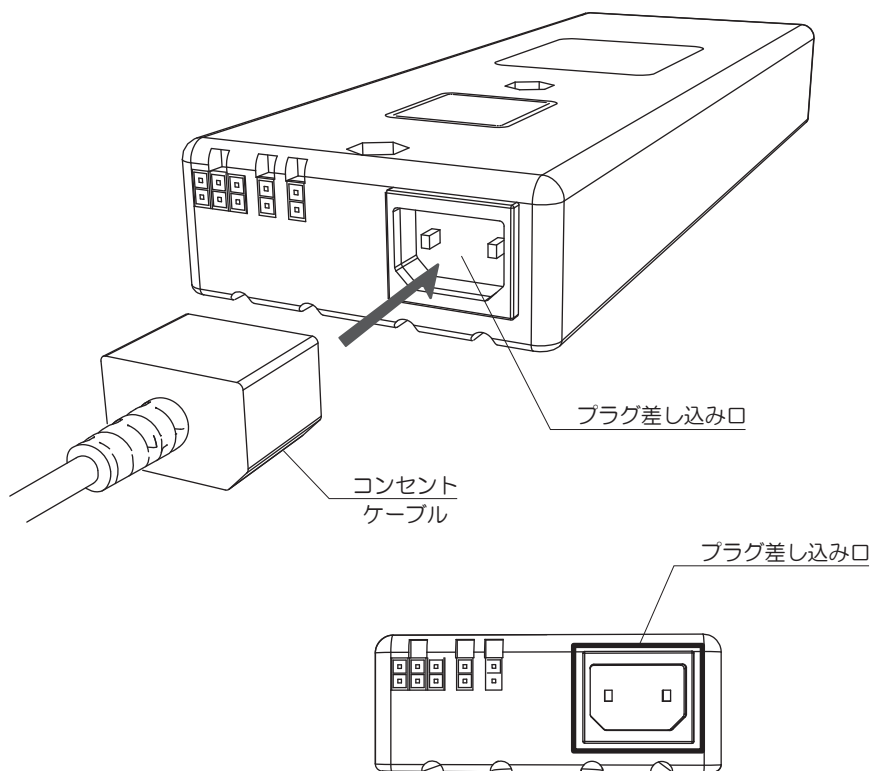
13 コントローラーとコントロールボックスの結線

コントロールボックスのケーブル差し込み口に、ケーブルのソケット部をカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。



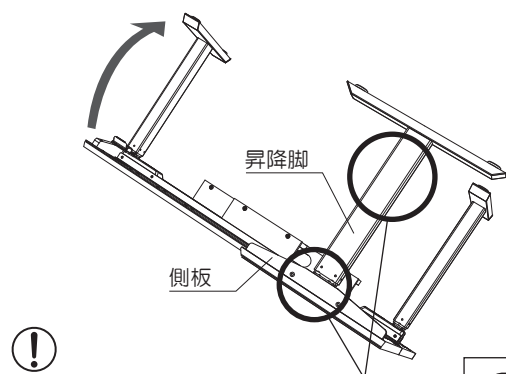
14 コンセントケーブルの結線

コンセントケーブルのプラグを、コントロールボックスのプラグ差し込み口にしっかりと差し込んでください。

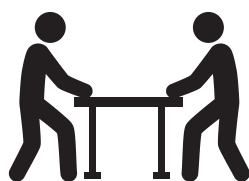
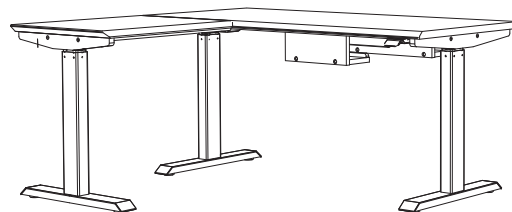


15 デスクを起こす

デスクを起す際は、吊り棚にあるコントロールボックスは特に固定されていない状態ですのでコントロールボックスを持つなどして注意して行ってください。



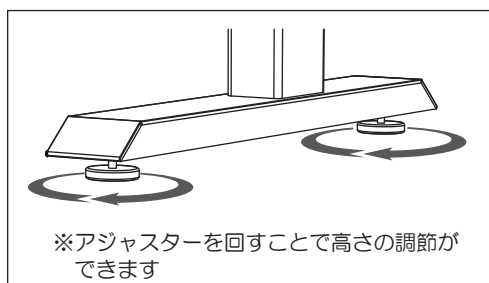
側板と昇降脚を両手で持ち
ケーブル等を挟んでしまわないよう
注意し、起こしてください



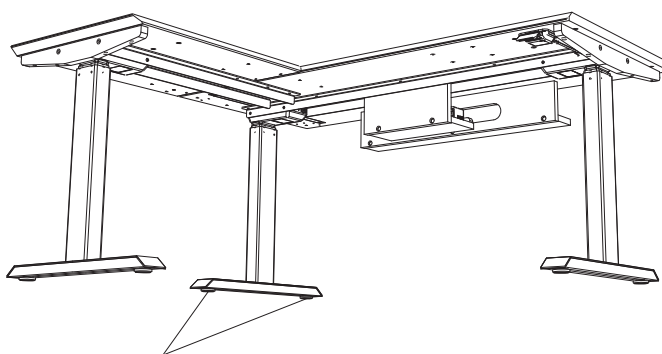
※必ず2人以上で作業をしてください

- ⊘ プラグを延長コードなどを使わずにそのままご家庭の壁面コンセントへ挿してご使用いただく場合は、ケーブルの長さ3mと長く取っていますが、長さ十分にご注意ください無理矢理使用しないでください。
→ 断線・故障の原因になります。

16 アジャスターの調整

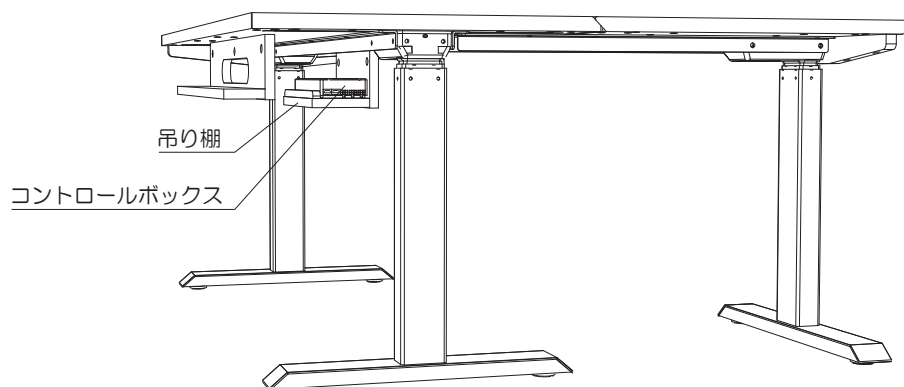


※アジャスターを回すことで高さの調節ができます



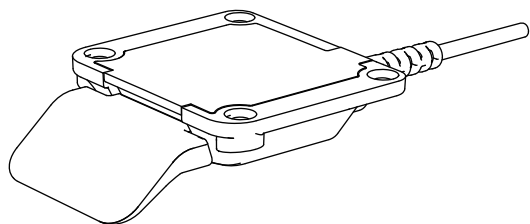
17 コントロールボックスの配置

コントロールボックスは、吊り棚の中央に置いて使用してください。

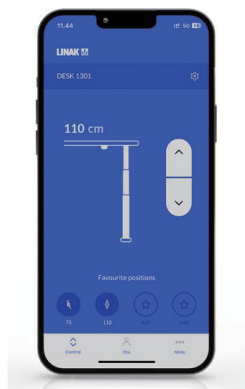


コントローラーでできること

1 名称



コントローラー



Desk Connect™ アプリ



アプリでできること
取扱説明書

アプリの使用方法については
2次元コードよりご確認ください

Androidの場合



iPhoneの場合



2次元コードよりアプリをダウンロード
ください

※お持ちのスマートフォン等からアプリのダウンロードをすると、お気に入りの高さ設定などができます。
(アプリでできること参照)

2 操作時の注意事項

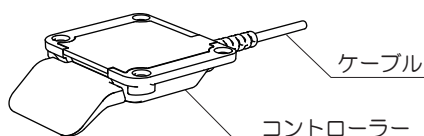
❗ コントローラーの操作には大きな力は必要ありません。

➡ 過剰に力を加えると破損する恐れがあります。優しく操作をお願いいたします。



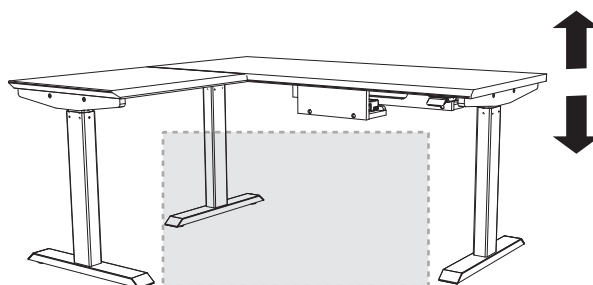
⊘ コントローラーから出るケーブルを無理に引っ張らないでください。

➡ コード類が損傷し、火災、感電の原因になります。



⊘ デスクの下に物や人がいる状態で操作しないでください。

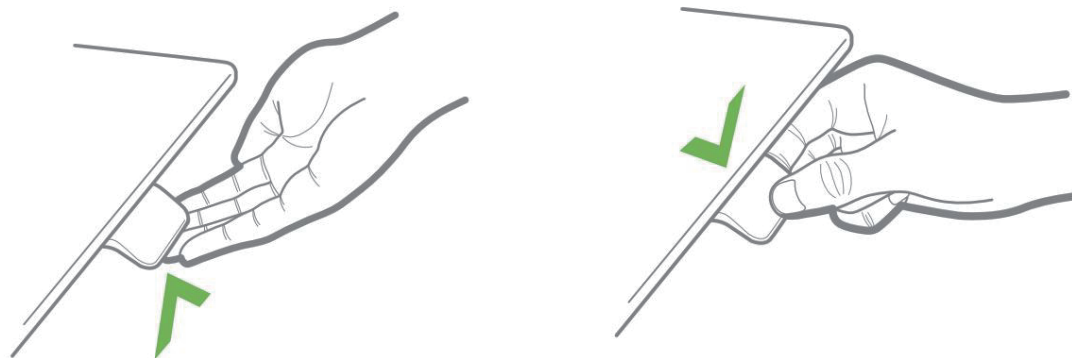
➡ ケガの原因や、器具・コード類が損傷し、火災、感電の原因になります。



3 天板昇降の操作方法

①コントローラーを傾けて操作します

1. コントローラーを上へ傾けて押し続けるとデスクが上がり、
コントローラーを下へ傾けて押し続けるとデスクが下がります。
2. ご希望の位置にデスクが到達したら、コントローラーを離します。



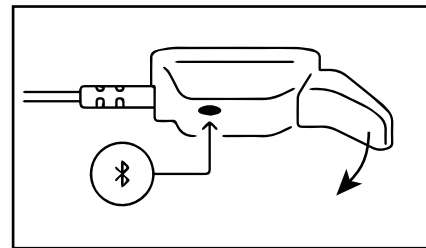
お気に入りの位置が保存され、自動運転（アプリでできること 参照）が有効になっている場合、上または下にダブルタップするだけで、デスクがお気に入りの位置に移動します。



4 コントローラーの設定画面

①設定画面に接続する

1. コントローラーの設定画面に接続するには、Bluetooth® 接続ボタンを押しながら、パネルを下に3秒間傾けるとメニュー画面を開きます。
2. パネルを上または下に傾けてメニューをスクロールします。
設定画面は、パネルに表示されている左上のアイコンで識別されます。
3. Bluetooth® 接続ボタンを押すことでメニューを決定します。



※30 秒間操作がないと、コントローラーは自動的に設定画面を終了します。

②初期化する（工場出荷時の状態に復元する）

1. コントローラーの設定画面から「RESTORE」を選択して、Bluetooth 接続ボタンを押して決定します。
2. 「CONFIRM」を選択して Bluetooth® 接続ボタンを押すと、初期化（工場出荷時の復元状態）になります。

※初期化（工場出荷時の復元状態）したくない場合は、「CANCEL」を選択して、Bluetooth® 接続ボタンを押して決定することで、設定画面に戻ります。

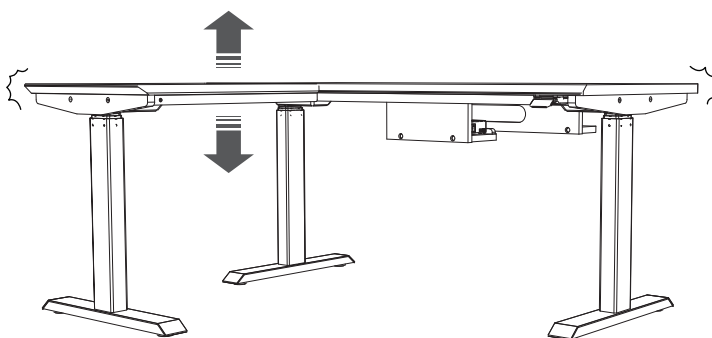
③設定画面を終了する

1. コントローラーの設定画面から「EXIT」を選択して Bluetooth 接続ボタンを押して決定します。

※30 秒間操作がないと、自動的に設定画面を終了します。

安全機能

上下昇降動作中に天板に衝撃が加わると、動作方向とは逆方向に約4cm 戻って止まる仕様となっております。



分解方法

- 引越などで分解する必要がある場合は、この組立説明書の組立て方法の内容をよくお読みいただき、分解してください。
- 分解や組替えの際には、部材や部品を紛失しないよう、十分注意してください。
- 分解や組替えがわかりにくい場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社お客様相談室にご相談ください。
- 分解方法や使用方法については、弊社ホームページに詳細を記載している場合がありますので、お困りの際には一度ご確認ください。 <http://kagu.koizumi.co.jp/>

エラーコードについて

※エラーが発生した際、コントローラーの液晶部分にエラーコードが表示されます。

エラーコード	内容	想定される原因	対処方法
E01	位置不明のため、初期化が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> 位置のエラー 昇降ユニットを新しく追加した 	<ul style="list-style-type: none"> 初期化を行ってください。 (初期化実行中にもこのコードが表示されます。)
E02	上昇方向に過負荷を検出しました。	<ul style="list-style-type: none"> 障害物がある 昇降ユニットもしくはケーブルの接続不良 	<ul style="list-style-type: none"> 負荷を取り除き、再度操作してください。 モーターケーブルが確実に接続されているか確認して初期化してください
E03	下降方向に過負荷を検出しました。		
E08	予期しないリセットが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアのフリーズなど 	<ul style="list-style-type: none"> 初期化を行ってください。 電源ケーブルを10秒抜いてみてください。 コントロールボックスを交換してください。
E09	昇降スイッチ接続ケーブルにエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> 複数の昇降スイッチが同時に起動された 	<ul style="list-style-type: none"> 昇降スイッチのケーブルが確実に接続されているか確認し、初期化を行ってください。
E10	電源電圧低下(10%以上)を検出、もしくは停電等による電源の瞬断を検出しました。	<ul style="list-style-type: none"> 稼働中に電源コードが抜かれた 内部故障 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードが確実に接続されているか確認してください。 電源プラグを抜き10秒経過した後、再度電源プラグを差し込んだ後に初期化を行ってください。 電源ケーブルまたはコントロールボックスを交換してください。
E11	接続チャンネル数を変更されました。	<ul style="list-style-type: none"> 電源が切断された 昇降ユニットを追加した 	<ul style="list-style-type: none"> 初期化を行ってください。 モーターケーブルが確実に接続されているか確認してください。
E12	高さ位置情報を失いました。	<ul style="list-style-type: none"> 稼働中に電源コードが抜かれた 電源ノイズ 	<ul style="list-style-type: none"> 初期化を行ってください。
E13	動作中に回路のショートを検出しました。	<ul style="list-style-type: none"> モーターケーブルが圧迫されている モーターの短絡 	<ul style="list-style-type: none"> モーターケーブルがきちんと接続されているか確認してください。 モーターケーブルを取り外して交換してください。
E14	ソフトウェアエラー	<ul style="list-style-type: none"> 稼働中に電源コードが抜かれた 電源ノイズ 	<ul style="list-style-type: none"> 初期化を行ってください。
E15	電力が使用限度に達しました。	<ul style="list-style-type: none"> 内部故障 	<ul style="list-style-type: none"> コンセントがタコ足配線になっていないか確認してください。
E16	不適切なキー操作です。	<ul style="list-style-type: none"> 複数のボタンを同時に押した 	<ul style="list-style-type: none"> 昇降スイッチのボタンが押されたままになっていないかを確認してください
E17	安全装置により、上方向には動作できません。	<ul style="list-style-type: none"> DP1C/DPF1C のソフトウェアが最新版ではない 	<ul style="list-style-type: none"> DPのソフトウェアを最新版に書き換える必要があります。

※初期化の方法については、P.16 「4 コントローラーの設定画面」をご確認ください。

エラーコードについて

※エラーが発生した際、コントローラーの液晶部分にエラーコードが表示されます。

エラーコード	内容	想定される原因	対処方法
E23	チャンネル 1 の昇降ユニットを検出できません。	<ul style="list-style-type: none"> ● チャンネル 1 が切断された ● モーターケーブルの破損（断線・ピン曲がり） ● DL 故障・破損 	<ul style="list-style-type: none"> ● モーターケーブルの挟み込みが無いか確認してください。 ● 昇降ユニットが確実に接続されていることを確認の上、初期化を行ってください。 ● モーターケーブルまたは昇降ユニット（脚）を交換してください。
E24	チャンネル 2 の昇降ユニットを検出できません。	<ul style="list-style-type: none"> ● チャンネル 2 が切断された ● モーターケーブルの破損（断線・ピン曲がり） ● DL 故障・破損 	
E25	チャンネル 3 の昇降ユニットを検出できません。	<ul style="list-style-type: none"> ● チャンネル 3 が切断された ● モーターケーブルの破損（断線・ピン曲がり） ● DL 故障・破損 	
E29	初期化後にチャンネル 1 の昇降ユニットが交換されたか異常を検出しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● CH1 を異なる DL に交換した ● モーターケーブルの破損（断線・ピン曲がり） ● DL 故障・破損 	<ul style="list-style-type: none"> ● DL の型式を確認してください。 ● モーターケーブルの挟み込みが無いか確認してください。 ● 昇降ユニットが確実に接続されていることを確認の上、初期化を行ってください。 ● モーターケーブルまたは昇降ユニット（脚）を交換してください。
E30	初期化後にチャンネル 2 の昇降ユニットが交換され交換されたか異常を検出しました。またはチャンネル 1 と異なる種類の昇降ユニットが接続されています。	<ul style="list-style-type: none"> ● CH2 を異なる DL に交換した ● モーターケーブルの破損（断線・ピン曲がり） ● DL 故障・破損 	
E31	初期化後にチャンネル 3 の昇降ユニットが交換され交換されたか異常を検出しました。。またはチャンネル 1 と異なる種類の昇降ユニットが接続されています。	<ul style="list-style-type: none"> ● CH3 を異なる DL に交換した ● モーターケーブルの破損（断線・ピン曲がり） ● DL 故障・破損 	
E35	チャンネル 1 にパルスの異常を検出しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● モーターケーブルの破損（断線・ピン曲がり） ● 高さ検出用センサー素子の誤作動または故障 	<ul style="list-style-type: none"> ● モーターケーブルの挟み込みが無いか確認してください。 ● 昇降ユニットが確実に接続されていることを確認の上、初期化を行ってください。 ● モーターケーブルまたは昇降ユニット（脚）をしてください。
E36	チャンネル 2 にパルスの異常を検出しました。		
E37 E31	チャンネル 3 にパルスの異常を検出しました。		

※初期化の方法については、P.16 「4 コントローラーの設定画面」をご確認ください。

エラーコードについて

※エラーが発生した際、コントローラーの液晶部分にエラーコードが表示されます。

エラーコード	内容	想定される原因	対処方法
E41	チャンネル 1 の昇降ユニット上方向に過負荷が検出されました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害物に当たっている ● テーブルの脚に過大な荷重がかかっている ● モーターケーブルの破損（断線・ピン曲がり） ● PIEZO なし DL で初期化後に上昇端に達した 	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害物を取り除いてください。 ● 負荷を取り除き、再度操作してください。 ● 昇降ユニットが確実に接続されていることを確認の上、初期化を行ってください。 ● モーターケーブルまたは昇降ユニット（脚）を交換してください。 ● PIEZO なし DL の場合、初期化後に2回上昇端に達すると、コントロールボックスが上昇端を記憶し以降このエラーは発生しません。（初期化を行うとクリアされます）
E42	チャンネル 2 の昇降ユニット上方向に過負荷が検出されました。		
E43	チャンネル 3 の昇降ユニット上方向に過負荷が検出されました。		
E47	チャンネル 1 の昇降ユニット下方向に過負荷が検出されました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害物に当たっている ● モーターケーブルの破損（断線・ピン曲がり） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 負荷を取り除き、再度操作してください。 ● 昇降ユニットが確実に接続されていることを確認の上、初期化を行ってください。 ● モーターケーブルまたは昇降ユニット（脚）を交換してください。
E48	チャンネル 2 の昇降ユニット下方向に過負荷が検出されました。		
E49	チャンネル 3 の昇降ユニット下方向に過負荷が検出されました。		
E59	チャンネル 1 のセーフティリミットスイッチ(PIEZO) が作動しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害物に当たっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害物を取り除き、再度操作してください。
E60	チャンネル 2 のセーフティリミットスイッチ(PIEZO) が作動しました。		
E61	チャンネル 3 のセーフティリミットスイッチ(PIEZO) が作動しました。		
E71	チャンネル 1 の回路のショート	<ul style="list-style-type: none"> ● モーターケーブルの破損（断線・短絡） ● モーター基板の故障・破損 	<ul style="list-style-type: none"> ● モーターケーブルの挟み込みが無いか確認してください。 ● 昇降ユニットが確実に接続されていることを確認の上、初期化を行ってください。 ● モーターケーブルまたは昇降ユニット（脚）を交換してください。
E72	を検出しました。		
E73	チャンネル 2 の回路のショート		
E74	を検出しました。		
E75	チャンネル 3 の回路のショート		
E76	を検出しました。		
E93	DS1（オプションの挟み込み防止センサー。コントロールボックスに差し込んで使用。）が作動しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害物に当たっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 昇降時の妨げになるものが無いか確認してください。あれば取り除いてください。
E94	DS1（オプションの挟み込み防止センサー。コントロールボックスに差し込んで使用。）が検知されません。	DS1が製品から取り外され、正しく接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> ● DS1が正しく接続されているか確認してください。 ● DS1を一度取り外し、再度取り付け直してください。

※初期化の方法については、P.16 「4 コントローラーの設定画面」をご確認ください。

保証書

●保証規定

- 組立説明書、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には無料修理をさせていただきます。修理を希望される場合は商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料での修理になります。
 - 組立説明書、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項をお守りいただけなかったことが原因での故障
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障
 - 火災・塩害・異常電圧・地震・雷・風水害・その他天災地変などによる故障
 - 消耗品の消耗、又はそれによる故障
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き換えた場合
所定の記入がない場合、お買い求め時の販売店の領収書を添付してください。
 - お買い求めの販売店、もしくは当社以外での修理、改造などによる故障
 - 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 運賃等の諸費用はおお客様にご負担していただく場合がございます。
- 補修用部品の最低保有期間は製造中止後5年間としております。

*ご販売店様へ 必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

JOIFA（一般社団法人 日本オフィス協会）の製品安全基準のガイドラインに基づき、製品の保証期間を以下のとおり定めております。

保証期間	1年	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・退色、クロスの摩耗
	2年	機構部・可動部	引出し、スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構の故障
	3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損

※保証規定および保証期間は、一般家庭において通常の使用を想定して定めたものであり、業務用に使用された場合の故障および不具合等は保証対象外とさせていただきます。

※アウトレット店やリサイクルショップでのご購入商品は保証対象外とさせていただきます。

●製品を廃棄するとき

製品を廃棄するときは法令に従って適切に処分してください。
処分方法が分からないときは、お住いの自治体へお問い合わせください。

品番	(商品に貼付けてある白いうラベルで品番をご確認ください。)	(お願い) お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保管してください。	
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号 () -		
お買い上げ日			
年 月 日			
販売店名・住所・電話番号			

お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました。販売店にご相談ください。

コイズミファニテック株式会社

◇お客様相談室 〒541-0051
大阪府大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL06(6484)5867

所在地、電話番号は変更になることがあります。

